

## 水俣から海外へ、「持続可能な開発のための教育」を伝える 各国環境省の専門官や研究者等、24名がスタディーツアーに来日

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)次世代リーダープログラムの一環として、「持続可能な開発のための教育(ESD)」をテーマに、対象国のコミュニティの将来を担う若手のNGO・教育関係者、行政官、研究者等24名を14カ国から招へいします。

(財)水俣病センター相思社(水俣市) おぢかアイランドツーリズム協会(長崎県小値賀町)の協力のもと、地域で育まれた文化や特徴を活かしながら、持続可能な地域活性化を促進する取り組みを視察します。水俣市、東京都では、視察の事例を基に次世代を担う各国の若手リーダーがワークショップを行います。

**招へい期間** 2010年4月11日(日)~4月23日(金) 13日間

### 14カ国、24名の招へい国/人数

インド/1名、インドネシア/2名、カンボジア/2名、シンガポール/1名、タイ/2名、韓国/1名、中国/1名、フィリピン/2名、ブルネイ/2名、ベトナム/3名、マレーシア/2名、ミャンマー/1名、オーストラリア/2名、ニュージーランド/1名

### 視察・訪問内容

水俣病資料館/村丸ごと生活博物館/吉井正澄前水俣

市長との面談/地元学ネットワーク主宰吉本哲郎氏との面談(水俣市 4/14・15)

旧野首教会/野崎島自然学塾村(長崎県野崎島 4/17) ホームステイ(長崎県小値賀町 4/18)



**ワークショップ(講師 永田佳之)**  
「持続可能開発のための教育：水俣の事例から」  
日時 2010年4月16日(金)  
12:30~14:00(使用言語 英語)  
会場 水俣市もやい館会議室(水俣市)

**総括ワークショップ(講師 永田佳之)**  
「アジア太平洋地域における持続可能な社会形成」  
日時 2010年4月22日(木)  
13:30~(使用言語 英語)  
会場 ホテルニューオータニ ガーデンコート館  
アリエス(東京都)

ワークショップは両日とも非公開ですが取材は歓迎致します。担当まで事前にご連絡をお願いいたします。

### プログラムアドバイザー 永田佳之(ながたよしゆき)(聖心女子大学准教授)

教育学博士。1995年、国立教育政策研究所の職員としてユネスコ等との国際事業にたずさわる。2005年、同時多発テロ事件後の国際理解教育のあり方を論じた論文にて、第29回「国際理解教育賞最優秀賞」を授賞。著書は『持続可能な教育と文化：深化する環太平洋のESD』(せせらぎ出版)、『国際教育協力を志す人のために：平和・共生の再構築へ』(学文社)など多数。2007年より現職。



お問い合わせ：国際交流基金 文化事業部 生活文化チーム 担当：志和(しわ)、竹内  
電話 03 5369 6060 / FAX: 03 5369 6036 e-mail: [jf-educators@jpf.go.jp](mailto:jf-educators@jpf.go.jp)